

# インターネットITS協議会 第23回総会 (案)

2023年6月30日  
IIC事務局

## 「2022年度の活動報告」及び「2023年度の活動計画」について審議頂く

### I. 2022年度の活動報告（案）

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 1. 活動概要 | IICの状況と対応       |
| 2. 組織   | 組織構造・役員構成・事務局体制 |
| 3. 活動報告 | 委員会構成・委員会活動結果   |
| 4. 決算報告 | 2022年度予算と結果     |

### II. 2023年度の活動計画（案）

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 5. 方針   | 2023年度重点方針      |
| 6. 組織   | 組織構造・役員構成・事務局体制 |
| 7. 活動計画 | 委員会活動計画         |
| 8. 予算計画 | 2023年度の予算       |

### III. 審議

# **I . 2022年度の活動報告 (案)**

# 1. 活動概要

2022年度は3年続いたコロナ社会により社会環境の大変化し  
それに対応し、前年に続き大幅な改革を実施した

改革を機に  
**全ての会員**がIICの運営や活動に自由に参加出来る様  
規約・組織・活動体制を整備した

以下詳細説明する

2022年度のIICを取り巻く環境に対して  
対応方針を大きく**下記3点**に定めて活動計画を策定し実施した。

◇ 社会変化に適応した構造への転換

会員同士が面着で議論する事が困難な状況が続く中、IICの活動手法もリモートを継続せざるを得なくなり、逆に事務所などを構える必要が減少。前年度に続き、それらに対応した協議会構造の転換を推進した。

**事務所の移転、貸会議室の活用、Zoom会議の活用 等**

◇ 会員の活動体制の整備

全会員が自由に委員会を発起し参加出来るように体制を整備した。

**幹事への就任・委員会の発起/参加 等**

◇ 個人会員の導入

前年度は会員の経済的負担を軽減する事を考慮し幹事会員・正会員が賛助会員へ移行するよう誘導し、それに合わせて規約を改訂した。

今年度は新規に**個人会員制度**を導入し誰でもが参加出来るような構造とした。

**個人会員制度・協議会参加方法の簡易化 等**

## 2. 組織

前年度に続きフラットな組織・運営を目指した構造に整備した

IICの運営を行う「幹事」への参画対象を全会員とした  
また運営に係る決議はシンプルに**幹事会のみ**とした

会員活動は従来通り「委員会」で行うとし  
会員全てが委員会を発起する事を可能とした

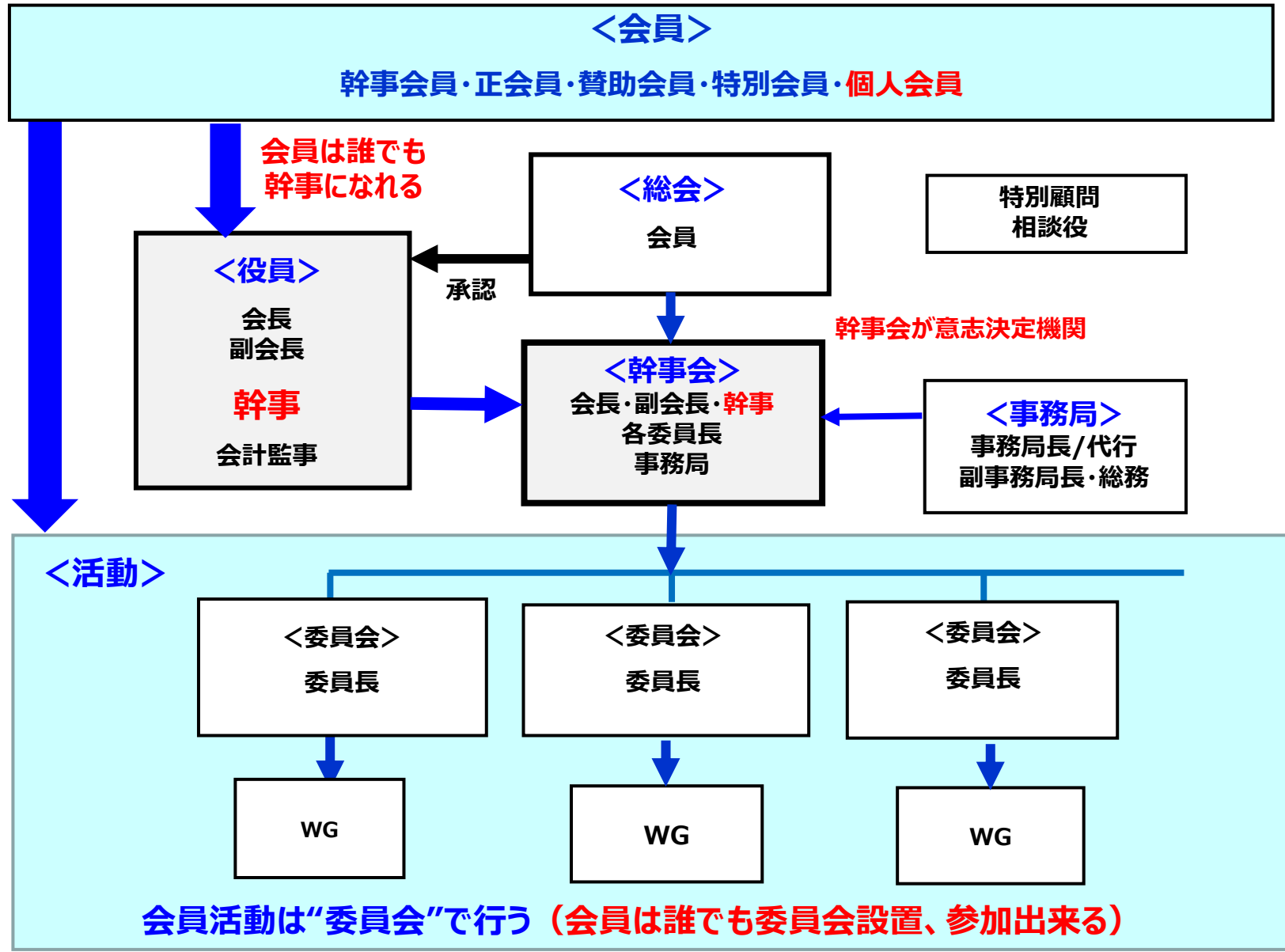
組織に属さない賛同者の参加を目指し  
個人会員を制度化した

# 2. 組織

# 組織構造

赤字部分が前年度からの改変部分

2022年7月～



2022年7月～

## 2022年度役員構成

## IIC役員

会長	藤江一正		
副会長	時津直樹		
幹事	伊藤勝規	イーブイ愛知(株)	社長
	浦 正勝	(一社)EMoBIA	代表
	荻野 司	(一社)CCDS	代表
	高田芳弘	(株)ブロードリーフ	ディレクター
	馬場園克也	ユーデック(株)	社長
	日原仰起	IIC個人会員	(株)IIC顧問
会計監事	來嶋 真也	(株)アカウンティングジャパン	社長

幹事については会員からの希望者があれば随時、追加可能  
(幹事会にて検討・選任し、後日総会にて承認する)



**IIC事務局**

事務局長	時津 直樹	(IIC全体の運営を統括する)
事務局長代行	木村 聡	(必要に応じ事務局長を代行する)
副事務局長	田中 敏夫	(事務局活動を担当する)
総務	岩崎 富弘	(総務を担当)
アドバイザー	若干名	(IICの功績者でIIC活動への支援を行う)

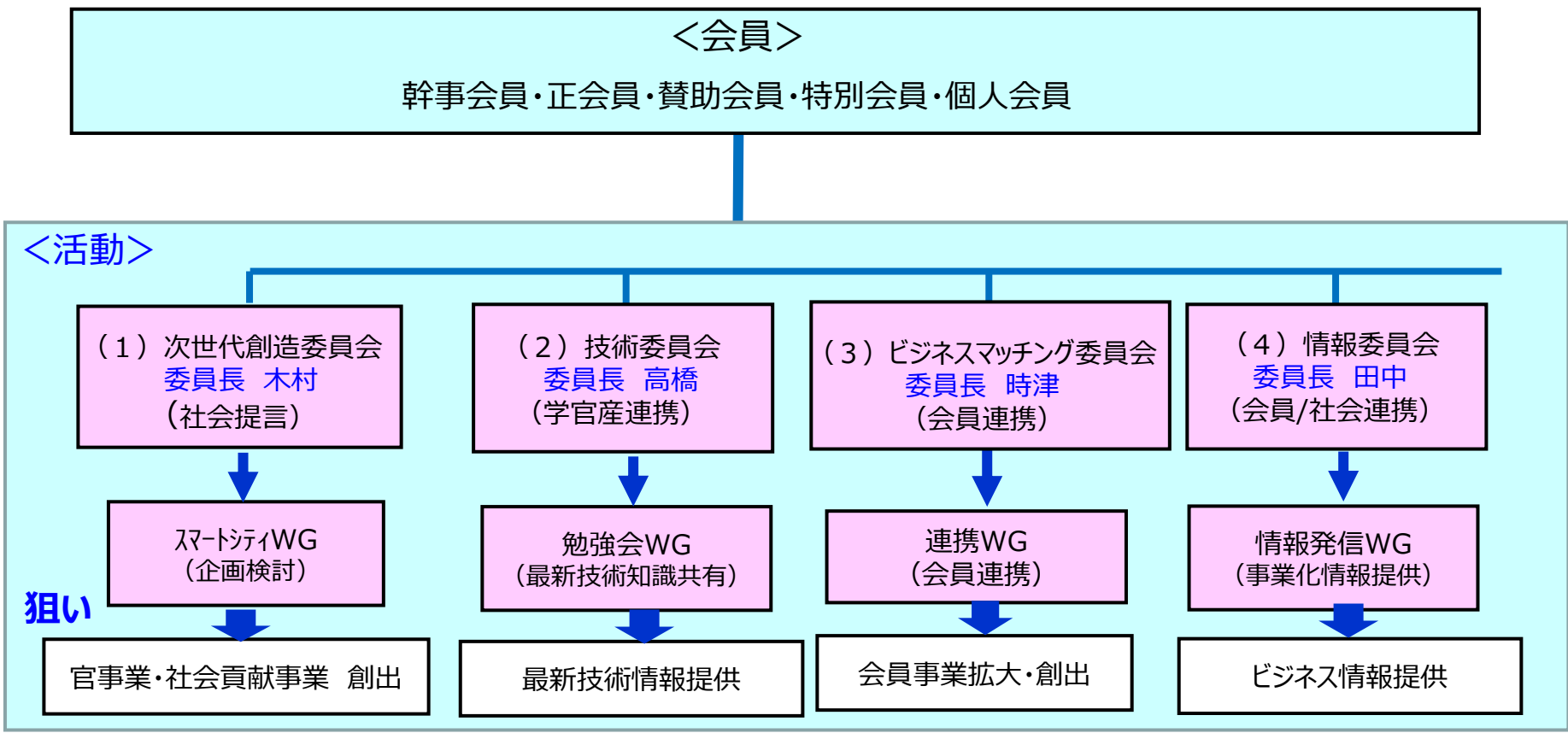
## 3. 活動報告

全年度より活動中の  
「次世代創造委員会」「技術委員会」「ビジネスマッチング委員会」  
及び「情報委員会」の4委員会を継続した

結果は  
本年度もWeb主体の活動となったが皆様の参加で継続した  
参集での活動を目指したが社会状況的に困難で  
目的とした運営には届かなかった

1月に面着での情報交換会を強行したことに評価大きく  
次年度へつながる成果だった

## 前年度と同じ4委員会で活動した



### 3. 活動報告

## 委員会活動結果(全体)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
▲ 総会	▲ 情報交換会 (中止)					▲ 情報交換会		
<div style="text-align: center;">                     幹事会(随時)                      IIC運営・戦略などについての協議                 </div>								
<div style="text-align: center;">                     メンバー募集(随時)                 </div>								
		委員長	木村	(1) 次世代創造委員会    スマートシティWG				
		委員長	高橋	(2) 技術委員会    勉強会WG				
		委員長	時津	(3) ビジネスマッチング委員会    連携WD				
				IICサロン活動				
		委員長	田中	(4) 情報委員会    情報発信WG(メルマガ)				

## 4. 決算報告

幹事会員・正会員がいなくなり会費収入は減少した

**賛助会員20社を想定して予算計画を策定した**

2年連続となる事務所縮小に伴う費用が特別に発生

参集しての活動が出来なかった事が要因で  
支出▲150万円となった

## 会計監査報告書

インターネットITS協議会

会長 藤江 一正 殿

本協議会の規約第25条に基づき、2022度における会計監査を実施した結果、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 監査対象期間 2022年4月1日から2023年3月31日まで
- 2 収支決算について、帳簿及び関係書類を閲覧して監査した結果、適正かつ適法であると認められる。

2023年4月7日

会計監事 來嶋真也 

以上

## **Ⅱ. 2023年度の活動計画 (案)**

## 5. 方針

社会環境は改善の兆しが見えて来た中  
Web活動の限界を打破し集合活動への対応を強化する

ITSがモビリティへと言う概念へ拡大し  
益々テーマが捉えにくくなって来た状況に対し  
異分野の集合体としてのIICの特徴を活かし  
会員の「知」を統合して次世代の概念を具現化する活動を強化する

また  
会員連携によるビジネス化を視野に  
マッチング活動や情報共有・交換活動を重点に推進する

上記勘案し方針を策定



## 2023年度の活動方針は下記点を重点として計画する

- ◇ 参加しやすい協議会構造へ  
企業としては各種団体へのリソース配分の再構築を行っている中  
IICとしては「参加しやすい事」を重点に“会費ゼロ化”を実施する
- ◇ **直接会話する機会の創出**  
長期間中断している会員同士の会話機会を創り出し、会員相互の交流を図る
- ◇ 予算のミニマム化  
会費ゼロ化への対応として運営構造の改革を行う
- ◇ 個人会員の拡大  
全国の同好の志を見つけ出し個人会員として組織化する  
モビリティに関するあらゆる知見の集合体を模索する

## 6. 組織

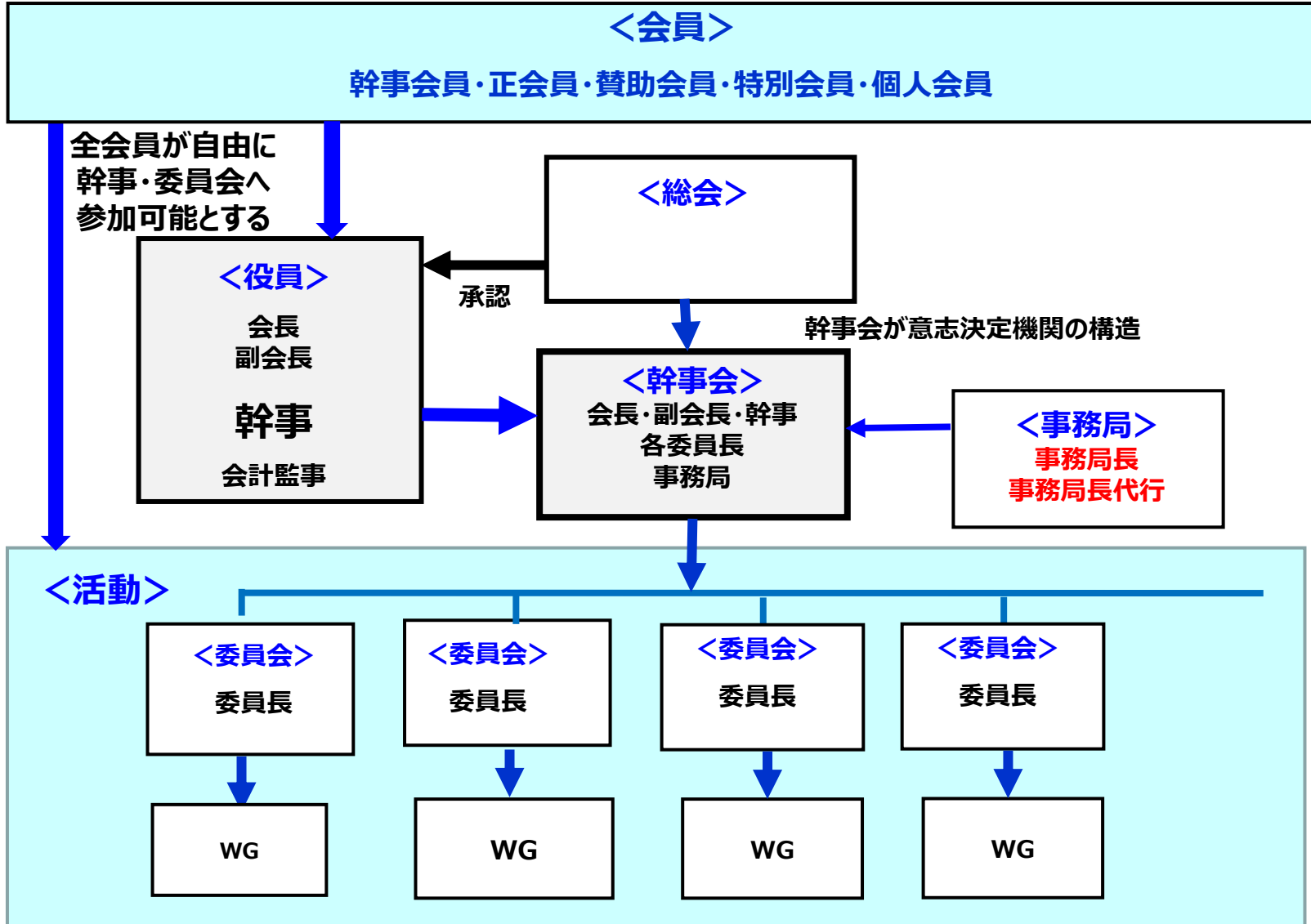
2022年度のフラットな組織は好評  
今年度も継続とする

IICの運営を行う「幹事」への参画希望は常時受け付ける

全会員からの委員会を発起を促してゆく

個人会員の制度を効果的に活用し  
次世代ITSを目指す“同好の志”を集積させる

組織構造前年度と同じ、事務局は縮小し運営費削減



役員体制についてもほぼ前年度と同じとする

## IIC役員

会長	藤江一正		
副会長	時津直樹		
幹事	浦 正勝	(一社)EMoBIA	代表
	荻野 司	(一社)CCDS	代表
	高田芳弘	(株)ブロードリーフ	ディレクター
	馬場園克也	ユーデック(株)	社長
	日原仰起	IIC個人会員	(株)IIC顧問
会計監事	伊藤勝則	イーブイ愛知 (株)	社長

事務局縮小に伴いアカウントिंगジャパン殿への委託を中止する事から、会計監事も交代とし、伊藤様へお願いする

幹事については会員からの希望者があれば随時、追加可能とする事は昨年同様  
(幹事会にて検討・選任し、後日総会にて承認する)



## 7. 活動計画

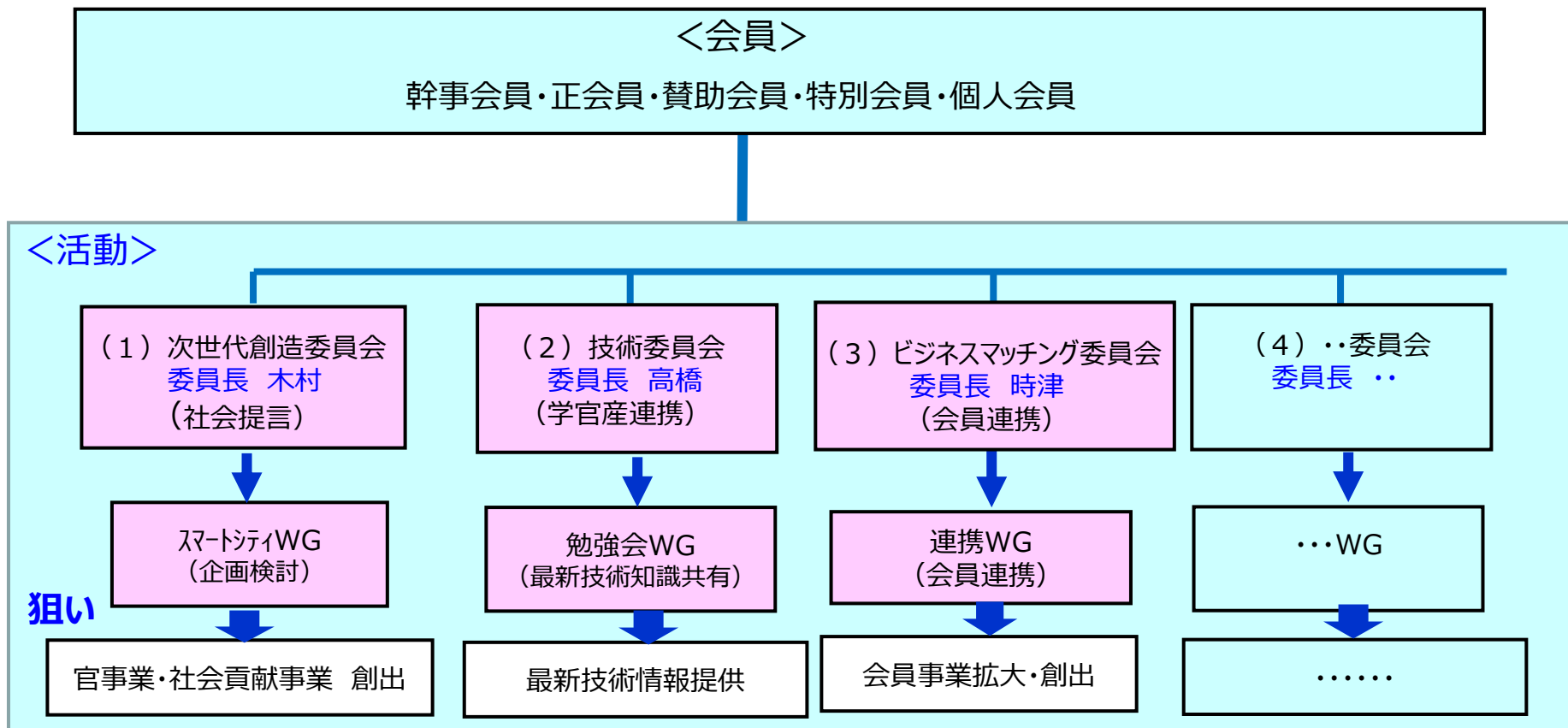
基本的には前年度の活動体制を継承する。

当面、前年度の3委員会を継続推進するが

会員間で新しいテーマ模索し、新規委員会の設置を促進する。

出来るだけリアリティを持たせる為、フィールドでの活動を模索する。

2022年度も4委員会では活動開始する



## 事務局企画活動

情報交換会      3回/年    (6月 12月 2月想定、総会・懇親会含む)

見学会            会員企業、展示会等への訪問等

展示会            名古屋モーターショーへの参画 (案)  
2019年以來の機会

## 委員会活動 (各委員会メンバーによる企画推進)

次世代創造委員会      スマートシティ活動を主に活動継続

技術委員会            新技術情報共有機会の提供を目指す

ビジネスマッチング委員会      会員及び関係者を募り見学会・展示会  
への参加を検討する



## 8. 予算計画

会費収入ゼロを前提に予算計画を策定する

会員集合での活動を中心に計画する

IICの存続と会員活動の継続性を重点に  
可能な限り繰越金の残存に努める

## **Ⅲ. 審議**

**以上**

**「2022年度活動報告(案)」及び「2023年度活動計画(案)」  
に関してご審議をお願いします**